

序 論

九大理 森 肇

融解現象とその周辺の研究が最近再び活発となってきたのは、ひとつは計算機の発達、もうひとつは高圧下での異常融解現象および液晶の諸種の相転移現象への興味によると思われる。ここには基礎的問題として

- 1) 剛体球系，剛体棒系の相転移。
- 2) 過冷却液体と液体の不安定性，核形成。

等の問題があるし，分子間力と相転移の機構，相図の問題として

- 3) 高圧下での異常融解
- 4) 液晶の諸種の相（特に nematic, smectic, crystal 相間の相転移）

等の問題がある。この序論では，これらの現状をとくに 1) と 4) とを中心にお話した。